

日本史 1/12

第1問 原始・古代から近現代までの土地制度について述べた次の文を読み、下の空欄 [1] ~ [10] にあてはまる適語を記せ。

古墳時代にはヤマト政権の支配のもと、豪族が、私有地である [1] や私有民である部曲を領有していた。しかし、646年の改新の詔により公地公民制の方針がうち出され、班田収授法に基づいて農民に田地が給付された。さらに庚寅年籍の作成により、6年ごとの口分田の班給が実現した。続いて政府は、人口の増加による口分田の不足を補い税収の増大をはかるため、723年に三世一身法、743年に [2] を発して、開墾した土地の私有を認めた。これにより、8～9世紀には初期荘園が成立した。

8世紀末には、班田農民の間に浮浪・逃亡や偽籍などの税負担を逃れる動きが広がり、国家財政の維持が困難になった。そこで政府は、有力農民を利用した直営方式の田地を設定して、諸官庁の財源確保をはかった。大宰府管内に設置された [3] はその政策の一つである。一方、私出挙や田地の開発により有力化した富豪百姓は、院宮王臣家と呼ばれた特権的な皇族や貴族の勢力下に入った。これにより院宮王臣家は私的に多くの土地を集積して、国家財政を圧迫した。

10世紀になると律令体制の崩壊が顕著になった。政府は、国司に一定額の税の納入を請け負わせるかわりに一国内の統治をゆだねる方針へと転換した。このため、国司は徴税単位である^{みょう}名の耕作を有力農民である [4] に請け負わせた。[4] の中には荒れ地を開墾して開発領主になり、自らの所領を中央の権門勢家に寄進して国司の干渉から逃れようとするものもあらわれた。こうしてできた荘園を寄進地系荘園と呼ぶ。

12世紀の院政期には荘園が増加し、一国内が荘園と公領で構成される荘園公領制が成立した。12世紀末に成立した鎌倉幕府は、この仕組みの中で地頭の設置を朝廷に認めさせ、支配を拡大していった。特に [5] の乱後、多くの東国御家人が西国の地頭に補任されたことにより、幕府の力が西国にも及ぶようになった。

南北朝時代になると守護の権限が拡大された。1350年の観応の擾乱のころ [6] 令が発布され、守護が国人を家臣化する契機となった。一方、畿内周辺では、鎌倉時代後期以降、村落の自治が進んで惣（惣村）が形成された。惣村では規約が定められ、規約にそむく者を村民みずから警察権を行使して処罰したり、村の共同利用地である [7] を管理したりした。

荘園制は、豊臣（羽柴）秀吉が実施した太閤検地によって最終的に解体された。太閤検地の結果石高制が成立し、領主に知行地が与えられる大名知行制や年貢などを村の責任で一括納入する村請制が成立した。江戸幕府もこの制度を踏襲して大名や村の支配を実現した。

江戸幕府の農民支配は村請制を前提にした本百姓体制の維持を目的とした。そのため、幕府は田畑永代売買の禁止令や分割相続による田畑の細分化を防ぐための [8] 令を出して、本百姓の没落を防ぐとともに、年貢を確実に徴収しようとした。しかし、18世紀には農民層の階層分化が進み、本百姓体制の維持は困難になっていった。このように、江戸時代後期には地主（豪農）と小作人の二極分化が進行した。

日 本 史 $\frac{2}{12}$

明治政府はこのことを前提に地券を発行し、1873年に 条例を制定して、それに基づく近代的土地所有制度を実現した。ついで、1880年代にインフレーションを解決するために緊縮政策を実施した。その結果米価などが下落し、自作農の中には没落して小作農になる者もあらわれた。一方、地主は土地を集積して寄生地主化した。

戦後、GHQは財閥と寄生地主制が軍国主義の基盤とみて、財閥解体と農地改革の実施を指示した。そこで 法の制定により第二次農地改革が開始されて寄生地主制が解体され、農家の大半は1町歩未満の零細な自作農となった。

日 本 史 $\frac{3}{12}$

第2問 16世紀後半～19世紀後半の次の年表をみて、下の問い（問1～10）に答えよ。

年	おもな出来事
1560	織田信長が今川義元を〈甲〉の戦いで破る
1573	①織田信長が室町幕府を滅ぼす
1588	豊臣秀吉が刀狩令と海賊取締令を出す。□1を鑄造する
1592	②文禄の役が起こる
1614～15	③大坂の役（大坂冬の陣・夏の陣）が起こる
1685	④生類憐みの令が出される
1722	徳川吉宗が⑤上げ米の令を出す
1767	⑥田沼意次が側用人となる
1792	松平定信が『海国兵談』の著者□2を処罰する
1837	〈乙〉で生田万の乱が起こる。モリソン号事件が起こる
1843	⑦水野忠邦が失脚する
1860	⑧桜田門外の変が起こる
1867	大政奉還が行われ、王政復古の大号令が出される

問1 空欄□1 □2に入る語句の組合せとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- | | |
|------------------|-------------------|
| (ア) 1 寛永通宝 2 林子平 | (イ) 1 寛永通宝 2 海保青陵 |
| (ウ) 1 天正大判 2 林子平 | (エ) 1 天正大判 2 海保青陵 |

日本史 $\frac{4}{12}$

問2 空欄〈甲〉〈乙〉に入る地名は次の地図上 a～d のどこに該当するか、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。



- (ア) 甲－a 乙－c (イ) 甲－a 乙－d
(ウ) 甲－b 乙－c (エ) 甲－b 乙－d

問3 下線部①について、この時、織田信長によって京都から追放された将軍は誰か、答えよ。

問4 下線部②について、文禄の役の時、豊臣秀吉が指揮をとった場所はどこか、地名を答えよ。

問5 下線部③について、この戦いの原因となった出来事と敗者について、正しいものの組合せを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 方広寺鐘銘問題 － 豊臣秀頼 (イ) 紫衣事件 － 後水尾天皇
(ウ) 石山戦争 － 顕如 (エ) 慶安の変 － 由井正雪

日本史 $\frac{5}{12}$

問6 下線部④に関連して、この法令を出した江戸幕府の将軍に関して述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 側用人柳沢吉保を重用して文治政治を推進させた。
- (イ) 長崎貿易を制限するために海舶互市新例を出した。
- (ウ) 林鳳岡(信篤)を大学頭に任じて、儒教を重視した。
- (エ) 荻原重秀の献策により元禄小判を鑄造した。

問7 下線部⑤について、これにより代償として緩和された制度は何か、答えよ。

問8 下線部⑥に関連して、この前後の出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 天明の飢饉が始まり、その翌年に浅間山が大噴火した。
 - Ⅱ 竹内式部が処分される宝暦事件が起こった。
 - Ⅲ 治安対策として石川島に人足寄場を設けた。
- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問9 下線部⑧に関して、水野忠邦はある法令を制定したことが、失脚の原因となった。財政の安定や対外防備の強化を目的とするその法令は何か、答えよ。

問10 下線部⑨について、これにより暗殺された大老は誰か、答えよ。

日本史 $\frac{6}{12}$

第3問 古代から近現代の政治・外交・経済・文化に関する下の問い（問1～10）に答えよ。

問1 遣隋使・遣唐使について述べた文として正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 遣隋使は、倭の五王と同様に中国の皇帝に臣属する形式をとって派遣された。
- (イ) 遣隋使に同行した高向玄理と旻は、改新政府で国博士となった。
- (ウ) 遣唐使の航路は、新羅との関係が悪化した後は北路に変更された。
- (エ) 遣唐使として派遣された阿倍仲麻呂は、帰国後橘諸兄政権で活躍した。

問2 密教と浄土教について述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 天台宗の密教を台密というのに対し、真言宗の密教は東密と呼ばれた。
 - b 聖衆来迎図は、不動明王像と同様に密教の世界観を表現した絵画である。
 - c 空也は市聖と呼ばれ、極楽往生の方法を示した『往生要集』を著した。
 - d 浄土信仰は末法思想の影響でいっそう強められ、多くの往生伝がつけられた。
- (ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

問3 中世の外交について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 平清盛は、日宋貿易をさかんにするために大輪田泊を修築した。
- (イ) 鎌倉幕府は、建長寺を修造する費用を得るために元に貿易船を送った。
- (ウ) 勘合貿易は、朝貢することが屈辱的であるとして足利義教の時に中断された。
- (エ) 日朝貿易の主な輸入品は木綿であった。

問4 中世の文化について述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 鎌倉時代の有職故実書に、『禁秘抄』がある。
 - b 関東管領上杉憲実は、和漢の書物を集めた金沢文庫を創設した。
 - c 東山山荘の作庭は、同朋衆の善阿弥が担当した。
 - d 侘茶は千利休が創出し、村田珠光が完成した。
- (ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

日本史 $\frac{7}{12}$

問5 江戸時代の外交について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) サン＝フェリペ号の航海士ヤン＝ヨーステンは、徳川家康の外交顧問となった。
- (イ) 東南アジアでの朱印船貿易がさかんになり、アユタヤなどに日本町が形成された。
- (ウ) 島原の乱が起こったことを背景に、ポルトガル船の来航が禁止となった。
- (エ) 琉球王国は国王の代替わりごとに謝恩使、将軍の代替わりごとに慶賀使を派遣した。

問6 江戸時代の文化について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 相国寺の禅僧であった藤原惺窩は、京学の祖といわれている。
- (イ) 正徳の政治を展開した新井白石は、『読史余論』を著した。
- (ウ) 賀茂真淵の門人であった塙保己一は、『群書類従』を編修した。
- (エ) 蘭学塾として適々斎塾（適塾）を開いたシーボルトは、『日本』を著した。

問7 自由民権運動について述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 大阪に愛国社が設立されると、政府は集会条例や新聞紙条例で弾圧した。
 - b 大阪会議の結果、漸次立憲政体樹立の詔が出され、元老院が設置された。
 - c 県令三島通庸が県会議長河野広中らを検挙した秩父事件が起こった。
 - d 井上馨外相の条約改正交渉の失敗を機に三大事件建白運動が起こった。
- (ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

問8 条約改正やそれに関連する出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ ロシア皇太子が巡査津田三蔵によって負傷する事件で外相が辞任した。
 - Ⅱ 外国人判事の大審院任用問題で反対論が起こり、外相が遭難した。
 - Ⅲ イギリスとの間で領事裁判権の撤廃や相互対等の最恵国待遇が実現した。
- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

日 本 史 $\frac{8}{12}$

問9 明治・大正期の文化について述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 雑誌『日本人』を刊行した徳富蘇峰は、日清戦争を機に對外膨張論に転じた。
- b 大日本帝国憲法の制定後、教育に関する勅語が發布され忠君愛国が強調された。
- c 大正デモクラシーの風潮のもとで、河上肇の『貧乏物語』が広く読まれた。
- d 坪内逍遙や島村抱月が創設した築地小劇場が新劇運動の中心となり、女優松井須磨子が人気を集めた。

(ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

問10 戦後の政治・社会経済について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ プラザ合意以後円高が加速したものの内需により景気が過熱し、バブル経済となった。
- Ⅱ 公害を批判する世論の高まりを背景に、公害対策基本法が制定され環境庁が発足した。
- Ⅲ 資材と資金を石炭・鉄鋼などの重要産業部門に集中する傾斜生産方式がとられた。

(ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

日 本 史 $\frac{9}{12}$

第4問 日露戦争後の日本とロシア（ソ連）との関係について述べた次の文を読み、下の問い（問1～10）に答えよ。

ロシアは日露戦争後にポーツマス条約を締結し、[Ⓐ]日本に様々な利権を認めた。その後ロシアは、三国協商の一員としてドイツを中心とする三国同盟と対立した。こうした国際関係を背景として1914年に第一次世界大戦が始まると、1内閣は日英同盟を名目に参戦した。

一方、日本は日露戦争以後、アメリカを牽制するためにロシアと4次にわたる日露協約を結び、東アジアにおける権益維持をはかった。しかし、ロシアでは第一次世界大戦の長期化によって国民が疲弊していた。1917年、ロシア革命が起こりソヴィエト政権が生まれた。その結果、日本とロシアの軍事同盟化を約していた第4次日露協約は廃棄された。

ソヴィエト政権がドイツ・オーストリアと単独講和条約を結ぶと、連合国は革命への干渉を開始し、[Ⓑ]寺内正毅内閣もアメリカの提唱をうけてシベリア出兵を行った。大戦後の1921年に[Ⓒ]ワシントン会議が開催され、軍縮と列国間の協調をめざしたワシントン体制が成立したが、日本はシベリア出兵を継続した。しかし、内外からの批判を受けた日本は1922年にシベリアから撤兵し、ついで[Ⓓ]日ソ基本条約を締結してソ連と国交を樹立したのを機に、1925年、北樺太から撤兵した。

その後はワシントン体制のもとで協調外交が進められたものの、やがて日本国内では大陸進出の動きが活発になった。[Ⓔ]田中義一内閣は満州権益を實力で守る方針を決定し、蒋介石の北伐に干渉するために山東出兵を行った。その後、[Ⓕ]関東軍が満州事変を起こし、日本は満州を占領した。さらに広田弘毅内閣では、北進論と南進論を併記した「国策の基準」を決定した。1937年に日中戦争が勃発して戦争が長期化する中、ソ連との国境をめぐる軍事衝突が起こり、[Ⓖ]ソ連軍の大戦車軍団により日本軍は敗北した。その後、新体制運動によって発足した第2次近衛文麿内閣は日独伊三国同盟を結び、この陣営にソ連を加入させることをめざして、1941年に日ソ中立条約を結んだ。しかし、太平洋戦争で日本の戦局が悪化する中、[Ⓖ]ソ連は対日参戦をアメリカ・イギリスに約束した。ソ連は広島に原子爆弾が投下された二日後の1945年8月8日に日本に宣戦布告し、連合国側として満州に攻め入った。

日本の敗戦後は、ポツダム宣言に基づいて占領政策が実行されたが、アメリカを中心とした西側陣営とソ連を中心とした東側陣営との間での「冷戦」が続いた。1951年に調印された講和条約である2は、ソ連など社会主義陣営を除いた単独講和であった。その後、1956年に調印された[Ⓘ]日ソ共同宣言により、日ソ両国の戦争状態が終了し、国交の正常化が実現された。

日本史 $\frac{10}{12}$

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 1 桂太郎 2 サンフランシスコ平和条約
- (イ) 1 桂太郎 2 日米安全保障条約
- (ウ) 1 大隈重信 2 サンフランシスコ平和条約
- (エ) 1 大隈重信 2 日米安全保障条約

問2 下線部㉑に関連して、ポーツマス条約で日本が得た利権として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 韓国に対する指導・監督権
- (イ) 2億両の賠償金
- (ウ) 旅順・大連の租借権
- (エ) 北緯50度以南のサハリン(樺太)と付属の諸島の譲渡

問3 下線部㉒の寺内内閣のときの出来事について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X 石井・ランシング協定を結んで、中国における日本の特殊権益をアメリカに認めさせた。
Y シベリア出兵を当て込んだ米の買占めが行われて米価が高騰し、富山県を発端とする米騒動が全国各地で起こった。

- (ア) X 正 Y 正 (イ) X 正 Y 誤
- (ウ) X 誤 Y 正 (エ) X 誤 Y 誤

問4 下線部㉓について述べた文として正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 米大統領ウィルソンの提唱で開催され、西園寺公望が全権として参加した。
- (イ) 英・米・日・仏による四カ国条約が締結され、日英同盟協約の廃棄が同意された。
- (ウ) 太平洋の島々に対する権利の現状維持を取り決めた九カ国条約が締結された。
- (エ) 補助艦の保有比率を英・米各5、日本3として制限した。

問5 下線部㉔について、日ソ基本条約を締結した内閣が共産主義思想の波及を防ぐために制定した法令は何か、答えよ。

問6 下線部㉕について、これを決定した会議の名称は何か、答えよ。

日 本 史 $\frac{11}{12}$

問7 下線部㉑に関連して、満州事変について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 第1次上海事変が起こり、日本軍と中国軍が衝突した。
- Ⅱ 清朝最後の皇帝であった愛新覚羅溥儀を執政とする「満州国」が建国された。
- Ⅲ 奉天郊外の柳条湖で関東軍が南満州鉄道の線路を爆破した。

- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問8 下線部㉒に関連して、独ソ不可侵条約が締結された時に進行中だった日ソ両軍の衝突事件の名称は何か、答えよ。

問9 下線部㉓について、この秘密協定の名称は何か、答えよ。

問10 下線部㉔について、日ソ共同宣言が調印されたことで日本の加盟が実現した国際組織は何か、漢字4字で答えよ。

日 本 史 $\frac{12}{12}$

第5問 次のテーマについて、それぞれ200字以内で論述せよ。

問1 大正期から太平洋戦争開戦までの政党政治について、200字以内で論述せよ。

問2 金本位制の展開について、次の語句を必ず用いて、200字以内で論述せよ（使用した語句には下線を施すこと）。

下関条約 金輸出解禁 高橋是清